

修士論文（要旨）

2016年1月

看護基礎教育におけるメタ認知スキル育成の教育的効果に関する研究
- シンキングシート作成と活用 -

指導 石川 利江 教授

桜美林大学大学院 心理学研究科

健康心理学専攻

214J4053

武田 清香

Master's Thesis (Abstract)
January 2016

A Study on the Educational Effect of Meta-cognitive Skills Learning in Basic Nursing
Education : Creation and Utilization of Thinking Sheets

Sayaka Takeda
214J4053
Master's Program in Health Psychology
Graduate School of Psychology
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor : Rie Ishikawa

目次

第1章 序論

第1節 はじめに	1
第2節 看護基礎教育の現状と教育的課題	1
1. 看護基礎教育	1
2. 21世紀スキル	1
3. リフレクション	1
4. メタ認知	2

第2章

第1節 第1研究	2
1. 目的	
2. 意義	
3. 方法	
4. 結果・考察	
第2節 第2研究	3
1. 目的	
2. 意義	
3. 方法	
4. 結果・考察	

引用文献

第1章 序論

第1節 はじめに

「看護教育の内容と方法に関する検討会報告書」の厚生労働省（2010）によると「いかなる状況に対しても、知識、思考、行動というステップを踏み最善の看護を提供できる人として成長していく基盤となるような教育」が重要であると示唆されている。

このような、体験や経験を学びに変化するためには、いくつかの方法がある。その一つに、シンキングツールと口頭報告がある。Marzano ら（2013）によるとシンキングツールは、認知システムにおける分析や理解の思考を深めるとされている。また、口頭報告は、自律システム、メタ認知システム、認知システムのすべてのシステムの思考を育成するために有効であることが示され、シンキングシートは、感情と思考のスキル育成に有効であることを示唆している。

そこで、第1研究では、人と人の相互作用「ヒューマンケアリング」を中心に、学習をリフレクションする方法について質的研究を実施。その後、リフレクションの教育方法の1つであるシンキングシートを作成する。

第2研究では、看護学生がリフレクションスキルを獲得する教育方法の検討として、シンキングシートを使用した実験研究を実施。シンキングシートの教育的効果を明らかにしたいと考えている。

第2節 看護基礎教育の現状と教育的課題

1. 看護基礎教育

看護六法第1編、第2章では、「看護師養成所の運営に関する指導要領について」において、看護師教育の基本的な考え方、留意点について6項目があげられている。ここでは、看護専門職業人として、人間理解、人間の生活、文化、環境への関心、科学的根拠に基づいた看護実践、健康の保持、増進、障害の程度に応じた看護実践、多職種と連携する能力について看護基礎教育で育成すべき能力であるとしている。

2. 21世紀スキル

国際社会においては20世紀末、「コンピテンシー」という能力概念が普及した。そして、「能力の定義と選択」としてDeSeCoプロジェクトが立ち上げられた。これは、12か国の国際的合意を得た新しい能力概念である。そこでは、従来の学力に加えて、持っている能力を活用し、自主的に生き、学び続ける力を持つことが21世紀に求められる能力とであるとされた。このような能力は看護専門職業人としても重要なスキルであるといえる。

3. リフレクション

Schutzら（2013）は、リフレクションについて、「学びに影響を与える経験の探求や自身の感情の分析」であるとしている。そして、リフレクションをとおして、知識、情緒、感情と実践を絡めながら自らに問いを立て、疑問視できる人材を育成する教育的ツールであるとしている。

看護学生の基礎教育におけるリフレクションの方法は研究が始まったばかりであり、その教育方法を模索している。

4. メタ認知

植阪ら（2011）によると、「メタ認知（metacognition）の「メタ」は「一段上の」を意味するギリシャ語であり、「認知」とは、記憶、問題解決、思考といった人間の知的な働き一般をさす。つまり、「メタ認知」とは、自らの知的な活動を一段上から客観的に捉え、行動を調整することを意味する。看護師として患者を看護するためには、自己の思考、感情、行動を的確にモニタリングし、コントロールできる「メタ認知スキル」を身に付ける必要がある。

第2章 研究1 看護学生の実習前・実習後シンキングシート作成

1. 目的

メタ認知能力を高め、リフレクションできる力を育成するためのシンキングシートの作成を行う。

2. 意義

実習前シンキングシートは、学生の自身が学びに対する目標を設定し、目標記載に対する自己の思考や感情に対する気づきを記載することにより、自らに問いを立てることが出来るシート構造としたい。

実習後シンキングシートは、「臨床の知」である体験から得た不確かさや迷いなどの感覚、科学的知識や既存の学習だけでは補えない知識を確かな知識、技術へと移行するシート構造としたい。この2つのシートを作成し、看護基礎教育現場で活用する。

3. 方法

看護学生5名に基礎看護学実習後にインタビューを実施。基礎看護学実習における体験の振り返りの内容と方法を構造化し、シンキングシートを作成する。

4. 結果・考察

看護基礎実習における「リフレクション」の方法と視点について分析し、その概念と構造を明らかにした。その結果、「実習前シンキングシート」、「実習後シンキン

グシート」を作成。

第 2 節 研究 2 看護学基礎実習におけるシンキングシート使用に関する教育的効果

1. 目的

本研究は、研究 1 作成した「実習前シンキングシート」「実習後シンキングシート」の効果と活用方法の検討を実施する。

2. 意義

「実習前シンキングシート」「実習後シンキングシート」を活用することによる、思考力育成の方法の検討を行うことで、看護学基礎教育の一助となることが期待される。

3. 方法

群	人数	実習前	自己評価	実習後	自己評価
A	4名	実習前シンキングシート	成人用メタ認知スキル尺度	実習後シンキングシート	成人用メタ認知スキル尺度
B	5名	実習前シンキングシート		インタビュー	看護学生リフレクション自己評価尺度
C	5名	介入なし		実習後シンキングシート	
D	14名	介入なし		介入なし	

4. 結果・考察

本研究 1 で作成したシンキングシートを第 2 研究において実習前後で使用すると、メタ認知スキルの自己評価も高くなる傾向が明らかになった。シンキングシートを使用した介入群（ABC）において、実習前より実習後において、有意に成人メタ認知スキルの自己評価得点の向上が見られた。つまり、シンキングシートを使用すると「メタ認知スキル」自己評価得点が向上する結果が得られた。

また、シンキングシートは、簡潔に要点を絞る学習ができるシートとなっていることが、学生が記載した内容からも明らかになった。ただし、A 群において介入の効果が見られず、成人メタ認知スキルの低下が見られたことから、介入方法には工夫が必要であると考えられる。

今回作成した実習前シンキングシート、実習後シンキングシートを使用することは、成人メタ認知スキル向上に対する一定の教育的効果があることが明らかになった。

引用文献

Patrick Griffan, Barry McGaw & Esther Care.(2012) ASSESSMENT AND TEACHING 21ST CENYURY SKILLS.

(P.グリフィン(著)、B.マクゴー (編) 、E.ケア 21世紀型スキル 学びと評価の新たな形
厚生労働省 看護教育の内容と方法に関する検討会報告書

<<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001310q-att/2r9852000001314m>>

(2011年2月23日)

Robert J Marzano,John S Kendall(2013). The New Taxonomy of Educationnal Objectives,
2nd edition.

(R.J.マルザーノ・J.S.ケンドール (著) 黒上晴夫・桑山裕 (訳) 教育身区表をデザインする
授業設計のための新しい分類体系 北大路書房)

植阪友理 (2010b) 第7章 メタ認知・学習観・学習方略 市川真一 (編) 現代の認知心理学
5 発達と学習 北王子書房.

Jean Watson(2014).PHD,RN,AHN-BC,FAAN Human Caring science:A Theory of
Nursing,5nd edition. (クリス・バルマン スー・シュッツ (著) 田村由美 池西悦子 津
田紀子 (訳) 看護における反省的实践 原著第5版 看護の科学社)